

地球温暖化対策実施状況報告書

令和 3 年 7 月 19 日

香川県知事 殿

報告者

住所 香川県坂出市室町三丁目5番28号

氏名 社会医療法人財団大樹会

理事長

松浦 一平

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	83 医療業
事業者の種類	香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	総合病院
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	令和 3 年 8 月 1 日
実施状況の公表の方法	インターネットの利用により公表する。 公表場所：ホームページ
連絡先	担当部署 施設管理 担当者 近藤利史 電話番号 0877-46-1011 FAX番号 0877-45-6410 電子メールアドレス shisetsu@kaisei.or.jp

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。

事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
① 第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等			
1	総合病院回生病院	香川県坂出市室町三丁目5番28号	第二種
2			
3			
4			
5			
6			
② その他の事業所			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 2 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		1. エアコン室内機洗浄（300台）。2. エアコン設定温度のチェック。3. 電化製品の更新。4. 非常照明の更新（99カ所）					
温室効果ガスの吸収等	区 分	実施年度（令和 2 年度）					
		二酸化炭素換算(t)					
	森林の整備等	t-CO ₂					
	経済的手法の活用	t-CO ₂					
	グリーン電力証書の購入	t-CO ₂					
	グリーン熱証書の購入	t-CO ₂					
	オフセット・クレジットの購入	t-CO ₂					
	国内クレジットの購入	t-CO ₂					
J-クレジットの購入	t-CO ₂						
合 計		① t-CO ₂					
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (平成 29 年度)	目標年度 (令和 2 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 2 年度)	対基準 年度比 (%)	
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 3,632 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 3,540 t-CO ₂	97.5	(二酸化炭素換算(t))③ 2,926 t-CO ₂	80.6	
	差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 3,632 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 3,540 t-CO ₂	97.5	(二酸化炭素換算(t))③-① 2,926 t-CO ₂	80.6	
	原単位排出量 A/B						
	温室効果ガス排出 量と密接な関係を持 つ値 B						
排出量等の 増減理由	令和2年度はコロナ対策のため、夏場に窓を開けたままエアコンを使用した所が多くガス使用量が増加した。四国電力の電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算出排出量に基づいた係数の基本排出係数が基準年度より低くなっているため、温室効果ガス排出量が基準年度比19.4%の減少となった。						
特記事項							

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。

【別表 2】

(令和 2 年度)

事業所名 社会医療法人財団大樹会 総合病院回生病院

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kL			kL				
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL			kL				
	揮発油 (ガソリン)		kL			kL				
	ナフサ		kL			kL				
	灯油		kL			kL				
	軽油		kL			kL				
	A重油		kL			kL				
	B・C重油		kL			kL				
	石油アスファルト		t			t				
	石油コークス		t			t				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t			
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t			
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³			
	石炭	原料炭		t			t			
		一般炭		t			t			
		無煙炭		t			t			
	石炭コークス		t			t				
	コールタール		t			t				
	コークス炉ガス			千m ³			千m ³			
	高炉ガス			千m ³			千m ³			
	転炉ガス			千m ³			千m ³			
	都市ガス		411	千m ³	18,906		千m ³	18,906	942.8	
その他の燃料										
小計 ①									942.8	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ				
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ				
	温水		GJ			GJ				
	冷水		GJ			GJ				
小計 ②										
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
電気	一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気	昼間買電	3420	千kWh		千kWh		3,420	1,306.4	
		夜間買電	1769	千kWh		千kWh		1,769	675.8	
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh				
		自家発電		千kWh		千kWh				
小計 ③									1,982.2	
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③									2,924.9	

電気事業者・排出係数(t-CO₂/kWh) : 四国電力 0.000382

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数												
	ガソリン (kL)			軽油 (kL)			LPG (t)			都市ガス(CNG) (千m ³)		その他	
	台数(台)		軽自動車除く	台数(台)		軽自動車除く	台数(台)		軽自動車除く	台数(台)		軽自動車除く	
	総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		
総合病院回生病院	0.8	6		0.2	1								
合計	0.80	6		0.20	1								

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン	0.80	kL	27.68	34.6	GJ/kL	1.86
軽油	0.20	kL	7.54	37.7	GJ/kL	0.52
LPG		t		50.8	GJ/t	
都市ガス(CNG)		千m ³		46.0	GJ/千m ³	
合計						2.37

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの

燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの

その他の方法 ()

集計表

区分	令和 2 年度 (t-CO ₂)
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表 2)	2,924
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表 5)	2
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	

合計	2,926